

平成29年度

# 市政運営方針



## 持続可能なまちを目指し、桐生市が進むべき方向にまい進します

桐生ならではの地方創生による好循環を生み出し、将来にわたって持続可能なまちとするため、「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策や「元氣・安心・未来」の三本柱による基本政策を着実に推進していく必要があります。

今後、桐生市にとって、市民の皆様にとって、今、何が必要なのか、そのために何をすべきなのかということ、最優先に考え、桐生市が進むべき方向に向かってまい進します。

問い合わせは、企画課企画担当（☎内線524）へ。

## 新規施策及び主な事業

### 地方創生・人口減少対策

#### 地方創生・人口減少対策

・誰もが住みたいと思えるまち、誰もが住み続けたいと思えるまち桐生の実現に向け、「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を中心に、様々な分野の対策を複合的に推進します。

### 元気で活力あるまちづくり

#### ○企業誘致

・平成29年度末完成予定の桐生武井西工業団地への早期誘致を推進するとともに、税制優遇制度の活用による企業誘致にも積極的に取り組みます。

#### ○創業促進・支援

・「創業チャレンジ支援事業補助金」を創設し、将来の成長が期待できる事業・創業者に対して資金面での支援を行います。

・「小規模ビジネス支援事業」も新たに実施し、主婦などが空き時間に趣味や特技を生かして行う小規模ビジネスなどの展開を促進します。

#### ○群馬大学への支援

・自動車の自動運転の実証実験などの大学の取り組みを地域の活性化につなげるため、今後も群馬大学理工学部との連携を強化します。

#### ○空き店舗対策

・利用件数が伸びている「空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」の更なる利用促進を図り、中心市街地などのにぎわい創出に努めます。

#### ○定住促進

・移住者向けの相談会や首都圏在住者を対象とした桐生の魅力体験ツアーを実施するとともに、各種メディアに向けた桐生暮らし情報の発信を強化します。

#### ○黒保根町において、子育て世代のニーズにあった定住促進住宅の整備に着手します。

#### ○農業振興

・親元での新規就農を奨励す

る「農業後継者育成事業」を新たに実施するなど、新規就農者の支援を強化します。

・農地へのすき込みができない硬い枯れ茎や病害虫に侵された農作物の残渣が適正に処理されるよう「農作物残渣適正処理事業補助金」を新設します。

#### ○林業振興

・様々なニーズに対応した幅広い品質の木材を取り扱うことができる市場併設型木材ストックヤードの整備に向け、関係団体を支援します。

#### ○シティブランディング

・魅力あふれる桐生を効果的に発信するとともに、まちな価値を高めるシティブランディングの取り組みを市民や各種団体と協働で推進します。

#### ○観光振興

・足利市及び東武鉄道グループと連携しながら、日本遺産を核とした広域周遊観光促進事業に取り組みます。

・赤城山の観光振興を推進する日本版DMO（注1）の取り組みを前橋市とともに支援し、観光客及び交流人口の増加を図る赤城山観光振興事業を実施します。

・東京浅草において、桐生八木節まつりの熱気を再現し、物産販売と観光キャラバンを

（注1）日本版DMO＝地域の「稼ぐ力」を引き出し、「観光地経営」の視点に立った活動を行う法人



<消防・救急体制>

消防団の一部活動のみに従事する機能別消防団員制度を新たに設け、新入団員の加入を促進します。

<観光振興>

東京浅草において、「桐生まつり in 浅草」を開催します。

<空き店舗対策>

「空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」の更なる利用促進を図ります。

・救急救命士の病院実習などの教育を拡充し、職員の知識と技術の向上に努めるとともに、消防団車両を含めた消防車両を計画的に更新します。  
 ・消防団の一部の活動のみに従事する機能別消防団員制度を新たに設け、新入団員の加入を促進するとともに、個人

安心して暮らせる  
まちづくり

・女性の人権、DV(注2)に関する相談や、女性相談員の対応を希望する相談者に配慮するため、女性相談員が配置される日をあらかじめ設定、周知します。

・従前の住宅用太陽光発電システム設置などの補助制度を見直し、補助対象範囲が県内では最も充実する「環境都市推進補助金」を新設します。  
 ・男女共同参画  
 ・男性の立場や視点から共同参画への理解をより一層深めてもらうため、新たに「男性向けの連続セミナー」を開催します。

・「介護予防・日常生活支援総合事業」において、利用者や地域の実情などに応じ柔軟にサービスを提供するため利用基準を緩和した訪問型サービスや通所型サービスを新たに実施します。

・身近な医療機関などで受診できる個別検診に前立腺がん検診を加えるとともに、各種がん検診などを一度で受けられる成人総合検診の実施回数を拡大します。

・桐生市空き家等対策協議会を設立し、総合的かつ計画的な対策を推進するための「桐生市空き家等対策計画」の策定について協議します。

・「きりゅう暮らし応援事業」として、助成内容を見直した住宅取得応援助成及び住宅リフォーム助成に加え、空き家利活用助成及び空き家除却助成を創設します。  
 ・建築物の耐震化  
 ・災害に強いまちづくりを推進するため、「第2期桐生市耐震改修促進計画」を策定します。

・北関東自動車道へのアクセス道路をはじめ、幸橋線、赤岩線などの幹線道路や長尾根峠などの生活道路を整備するとともに、桐生駅と西桐生駅を結ぶ歩道や新桐生駅前広場などの交通結節点の機能強化に取り組みます。

・市民体育館建て替えのための設計業務を進めるとともに陸上競技場の改修に向けた関係機関との検討を継続的に実施し、いずれも平成32年度までの完成を目指します。

・平成28年度に実施したアンケートの結果を基に、第5期となる「桐生市障害福祉計画」の策定に取り組みます。

・「認知症初期集中支援チーム」と連携しながら地域全体の支援体制を構築するため、新たに「認知症地域支援推進員」を配置します。  
 ・広域型の特別養護老人ホームを2施設各10床の合計20床、地域密着型特別養護老人ホームを1施設29床、認知症高齢者グループホーム1施設9床をそれぞれ整備します。  
 ・生活支援コーディネーターの配置を増員し、「生活支援体制整備事業」の充実に努めます。

(注2) DV = (ドメスティック・バイオレンス) 配偶者や恋人など、親密な関係にある又はあった者から振るわれる暴力のこと

## 市政運営方針



写真はイメージです。

### <包括的な子育て支援②>

保健福祉会館内に大型遊具を配置した屋内遊戯施設を設置します。



### <包括的な子育て支援①>

地域子育て支援事業などの業務を保健福祉会館内に集約し、子育て世代包括支援センターの体制を強化します。



### <住宅対策>

住宅取得応援助成や空き家利活用助成などを行う「ぎりゅう暮らし応援事業」を実施します。

○包括的な子育て支援  
 ・妊娠期や子育て期の適切なサービス利用を支援する利用者支援事業のほか、地域子育て支援拠点事業や子ども発達相談、家庭児童相談などの業務を保健福祉会館内に集約し、総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターの体制を強化します。  
 ・母乳育児への支援としては県内初の「母乳外来助成事業」のほか、不育症治療の経済的負担を軽減する「不育症治療費助成事業」や、育児ストレスなどに悩む母親を支える「母子支援プログラム」を

## 子供のための未来づくり

○公共交通  
 ・おりひめバスや予約制乗合タクシー、デマンドタクシーの利便性向上に努めるとともに、鉄道の利用促進や沿線の活性化に向けた支援を行います。  
 ・老朽化したJR桐生駅南口高架下公衆トイレを改修するとともに、案内表示や照明設備なども併せて整備します。  
 ○景観行政  
 ・「桐生市屋外広告物条例」を新たに施行し、魅力ある景観まちづくりを進めます。

○桐生ならではの特色ある教育  
 ・「未来創生塾」への支援を継続するとともに、「サイエンスドクター事業」や「黒保根町国際理解推進事業」を引き続き実施します。  
 ○商業高校  
 ・プロジェクト設置やパソコン機器更新など、県内公立高校の中でも高い水準の環境となるICT（注3）設備を整備します。

○公共施設マネジメント  
 ・公共施設等総合管理計画に基づき施設種別ごとに個別計画を策定し、公共施設などの最適配置を推進します。  
 ○職員の人材育成  
 ・「桐生市人材育成基本方針」に基づき、引き続き経済産業省や群馬県での実務研修を実施します。  
 ・東日本大震災による被災地を支援するため、石巻市や宮古市などへの職員派遣も継続します。

○新生総合計画  
 ・「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と計画期間を一致させるとともに、次期総合計画の期間を市長任期と整合させるため、計画期間の延長に向けた改定作業を進めます。  
 ○行政改革  
 ・現在策定中の新たな行政改革方針に基づき、限られた資源を有効かつ効率的に活用し、健全な財政基盤の確立を図りながら、持続可能な行政経営を推進します。  
 ・社会情勢の変化などに柔軟に対応していくため、少数精鋭による機能的な体制となるよう市役所の組織を継続的に見直します。

○その他の主要施策  
 ・子供と保護者が楽しく集い、遊び、交流できるコミュニティ空間を創造するため、保健福祉会館内に大型遊具を配置した屋内遊戯施設を設置します。  
 ○ファミリーサポートセンター  
 ・子育て世代のニーズに応えるため、新たに育児サービスの利用料助成を開始し、事業の利用を促進します。  
 ○桐生を好きな子供を育てる取り組み  
 ・子供の社会性や創造性などを育むとともに、地域の教育力の向上を図るため、「放課後子供教室」を試行的に実施します。  
 ・海外の文化への理解を深めるとともに、英語学習に対する意欲を高めるため、姉妹都市であるアメリカ合衆国コロンバス市への中学生の派遣を検討します。

(注3) ICT=情報、通信に関する技術の総称